

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>右室中部中隔ペーシングによるペーシング心電図の特徴についての検討</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>循環器内科 高宮智正</p>
<p>利用目的</p>	<p>徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療は有効な治療です。しかしながら、頻回の右室心尖部ペーシングにより心機能が低下（ペースメーカー誘発性心筋症）を生じる場合があります、それを防ぐ方法は確立されていません。本研究は右室中部中隔へのリード留置の有効性（ペースメーカー誘発性心筋症の発症リスク低減）を心電図の特徴をもとに検討します。</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>当院で令和6年4月1日から令和6年12月31日に当院で徐脈性不整脈（完全および高度房室ブロック）に対し恒久的ペースメーカー植込み術を行った患者様を対象とします。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>本研究は観察研究です。上記の患者様を対象とします。患者様の個人情報としては性別、年齢、身長、体重、疾患（房室ブロック）のタイプ、通常の診療における心電図検査、心臓超音波検査、血液検査、ペースメーカーに関する測定データを用います。個人情報を同定できるようなデータは使用しません。</p>
<p>問合わせ先</p>	<p>代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>参加いただいた場合の利益・不利益はありません。研究に協力しない場合でも診療に何ら不利益はありません。</p>

